

事業番号	08 01 07	事業改善シート(28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	山岳遭難防止対策費			担当課	部局	観光部	
					課・局・室	山岳高原観光課	
総合5か年計画	プロジェクト	2-1-4 農山村産業クラスター形成プロジェクト		E-mail	mt-tourism@pref.nagano.lg.jp		
	施策の総合的展開	1-2 強みを活かした観光の振興		実施期間	S38 ~		
		1 選ばれる観光地づくり					
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出					
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 (カ) 観光の振興					

1 事業の概要

目指す姿	3000m級の山々を数多く抱える全国有数の山岳観光県である本県において、遭難の未然防止及び救助体制の整備を強化することにより、信州の山々を愛する登山者が安全に登山を楽しむことのできる環境の確立を目指す。		
現状(予算編成時)	<p>○山岳における遭難の未然防止及び遭難者の捜索、救助の万全を期するため、関係機関・団体が協力し、総合的かつ計画的な遭難対策を推進</p> <p>○平成26年の長野県の山岳遭難等の状況は、登山者71万人、遭難件数272件(前年比28件減)、遭難者数301人(前年比27人減)</p> <p>○平成27年の遭難件数及び遭難者数(暫定)は前年を下回ったが過去3番目の多さであり、依然として高水準で推移</p>		
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】	
	県民との協働による実施: 実施中	○遭難の未然防止と迅速な救助体制整備は、山岳観光県として取り組むべき責務。市町村や関係団体等と一体となった取り組みが不可欠であるため、長野県山岳遭難防止対策協会を設立	

成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)					
	<p>○長野県への来訪者の多い首都圏や県内登山口において、登山者への啓発・直接指導を実施</p> <p>○隣接する富山県・岐阜県との連携を通じ、特に遭難の多い北アルプスにおける登山者への啓発を充実</p> <p>○安全登山のための啓発物品を作成、グレーディングを普及、セルフチェック登山を普及 ⇒増加している遭難件数に歯止めをかけ、減少に転じさせる。</p>					
	② 事業内容 (単位:千円)					
		項目	実施方法	H28事業実績	H28 (当初)	H28 (決算)
	澗沢山岳総合相談所管理委託	委託	安全登山のための注意喚起や山岳情報等提供を行うため、澗沢山岳総合相談所の維持管理を委託。	2,301	2,301	2,301
	長野県山岳遭難防止対策協会負担金	負担金	登山者の遭難事故の未然防止、迅速な救助活動のため長野県山岳遭難防止対策協会が行う事業に対し負担金を支出	33,446	33,446	32,518
	消耗品、コピー代、運送料等	直接	経常事務費	155	155	155
	山岳観光推進員の設置	直接	山岳観光及び山岳遭難防止活動を推進。	3,086	3,086	2,326
	澗沢山岳総合相談所改修	直接	澗沢山岳総合相談所の耐雪工作物基礎の改修	2,185	2,273	1,295
	活火山登山者安全対策設備整備	補助金	火山の山頂等の山小屋の強化	2,732	0	27,936
			合計	43,905	41,261	66,531

事業コスト	区分(単位:千円)				成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
		当初予算	58,739	43,905	66,531				目標	成果	達成状況	
		補正予算	3,365	-2,732								
		合計(A)	62,104	41,173	66,531							
	Aの財源	一般財源	48,547	26,980	45,207	遭難件数	272件	273件	260件	272件	未達成	260件
		県債				遭難人数	301人	300人	280人	303人	未達成	280人
		国庫支出金										
		その他	13,557	14,193	21,324							
	決算額(B)	62,104	41,261									
概算人件費	職員数(人)	2	2	2.00								
	概算人件費(C)	16,552	15,828	15,828								
	概算事業費(B(A)+C)	78,656	57,089	82,359								

目標に対する成果の状況	<p>中高年登山者による遭難数の高止まり、バックカントリースキー遭難の増加のため、遭難件数及び遭難者数ともに目標を達成できなかった。</p> <p>「信州 山のグレーディング」をはじめとする登山者への啓発、民間企業と連携した遭難対策を計画以上に行うことができた。</p>
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<p>「信州 山のグレーディング」ピッチマップや「セルフチェック登山」により、自分にあった山選びを波及させ、遭難防止に取り組む。登山安全条例のガイドラインによる啓発をはじめとして、民間企業と連携して、パブリシティ等を含めた効果的な事業実施をしていく。</p>